

平成23年度「人生の達人セミナー」が

開催されました

11月16日（水）、平成23年度の「人生の達人セミナー」が開催されました。このセミナーは、本県にゆかりの深い人生の先輩から、経験をふまえた実社会のきびしさなどのお話をいただくことで、生徒に21世紀をたくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、生徒の人生観や倫理観を育むことをめざしたものです。

今年は、NBCラジオのパーソナリティーや各種イベントの司会等で活躍されている、雲仙市在住の川田金太郎さんを講師にお迎えし、「伝えるということ」という題で、お話をいただきました。



中学校卒業後の、家出同然での「自転車日本一周」をめざした旅での思い出。その旅は波瀾万丈の大変な旅となりましたが、大変な苦労の中で初めて感じた母親への感謝の気持ち。なかなか「ありがとう」という感謝の気持ちは言葉には表しにくいけれど、「それを強く思うことで、相手には伝わるもの」だというお話は、とても印象的でした。

また、途中では、ギターの弾き語りでも、川田さんのお子さんへの愛情を表現した歌やNHK長崎放送局の開局記念のために作られた歌を披露いただき、90分の講演時間がまたたくうちに過ぎてしまう、本当に楽しく有意義な講演でした。川田さん、心揺さぶる素晴らしいお話をありがとうございました。

以下に、当日の生徒感想文を紹介します。

川田さんの講話を聞いて、大人の気づかいがどういうものかを知ることができました。思いを伝えることは難しいことだけど、自分が伝えたいと思うことで、言葉に出さなくても伝えられることを改めて知りました。思いを伝えることに必ずしも言葉を使わないといけないわけじゃなく、言葉じゃなくても相手に伝わることも改めて知りました。これからは、自分が大人の気づかいをしていけるようにしていきたいです。それと「ありがとう」

という感謝の気持ちと「ごめんなさい」という謝罪の気持ちをちゃんと伝えられる人になりたいです。(2年生女子)

川田さんのいろいろな体験談を聞くことができました。とてもおもしろくて、川田さんのいろいろな気持ちが伝わってきました。母親への感謝の気持ちを持つところでは、自分も母に「ありがとう」とあまり言わないし、そう強く思ったりもしないから、改めて両親には感謝の気持ちを持ちたい。それと大人の気づかいのことも話されていて、自分はあまり気づかいのできない方だから、それができるよう心がけていきたい。(1年生男子)

